

旧日光街道通行止め

計画押し付けではなく、住民とつくるまちづくりを



現在、車両のみ通行止めの旧日光街道。今度是人も自転車も通行止めに。(おおたかの森駅(奥側))

3月15日、3回に分けて行われた西初石5丁目の住民説明会。道路工事(東武野田線の下を通るアンダーパス方式、幅員32m)に伴い、旧日光街道が今年4月13日(予定)よりH29年3月末まで通行止めになることから開催されました。

参加者からは、「駅やSCに行くたびに、ベルクの前の通りまでグルッと回るのは大変」「東武線脇に沿って通路を確保し、利便性を守ってほしい」「駐輪場を専用に確保して欲しい」などの意見が寄せられました。また粉じん対策や夜間工事の振動対策も聞かれました。

『線路に沿った通路確保は可能』3月議会で提起

私は、3月5日の一般質問で取り上げ、東武線の脇の通路を確保しながら工事ができる方法を明らかにし、引き続き市とURの協議を求めました。また住民説明会にも参加し、線路脇の通路確保策は警察協議の対象外だったことも分かりました。一方、掘削土壌の積み上げが終わった土砂への粉じん対策は、URが約束しました。住民の意見を真摯に聞き、住民と一緒にまちづくりをする姿勢が市にもURにも欠かせません。引き続き、『住んでよかったと実感できるまちづくり』を一緒に進めましょう。



市議

小田桐たかし



県議予定候補

矢田春代